

GA-8IRXP
P4 Titan-DDR マザーボード

ユーザーズマニュアル

Pentium®4 プロセッサ用マザーボード
レビジョン2.0 二版.
12MD-8IRXP-2002

目次

付属品のチェックリスト.....	3
警告!	3
第1章 はじめに.....	4
機能のまとめ	4
GA-8IRXP マザーボードのレイアウト.....	6
第2章 ハードウェアの取り付けプロセス.....	7
手順 1: 中央処理装置 (CPU) の取り付け.....	8
手順 1-1: CPU の取り付け.....	8
手順 1-2: CPU ヒートシンクの取り付け.....	9
手順 2: メモリモジュールの取り付け.....	10
手順 3: 拡張カードの取り付け	11
手順 4: リボンケーブル、キャビネットワイヤ、電源装置の接続.....	12
手順 4-1: I/O 背面パネルの概要	12
手順 4-2: コネクタとジャンプ設定の概要	14
第3章 BIOSのセットアップ	20
メインメニュー	20
デュアルBIOS/Q-Flashユーティリティ	20
言語の選択	20
最適化されたデフォルトのロード.....	22
保存と終了のセットアップ	23
第4章 ドライバのインストール.....	24

付属品のチェックリスト

- ☑ GA-8IRXP マザーボード
- ☑ IDE ケーブル x 3 / フロッピーケーブル x 1
- ☑ マザーボードドライブとユーティリティ用CD (特別なCD)
- ☑ GA-8IRXP ユーザーズマニュアル
- ☑ クリックPC取り付けガイド
- ☑ 2ポートUSB ケーブル x 1
- ☑ I/O シールド



警告!

コンピュータのマザーボードと拡張カードには、精巧な集積回路(IC)が組み込まれています。この集積回路が静電気により損傷しないように、コンピュータを操作するときは、常に次の注意事項を守る必要があります。

1. コンピュータの内部を操作するときは、コンピュータの電源を抜く。
2. コンピュータのコンポーネントを取り扱う前に、アースされたリストバンドを付ける。お持ちでない場合は、安全にアースされた物体か、電源装置のケースなどの金属物体に両手を置いてください。
3. コンポーネントの両端をつかみ、ICチップ、リード線やコネクタ、またはその他のコンポーネントに触れないようにする。
4. コンポーネントをシステムから取り外すとき、コンポーネントはアースされた静電気防止パッドの上、またはコンポーネントに付属する袋の上に置く。
5. マザーボードのATX電源コネクタをコンセントにつなぐ前、またはコンセントから抜く前、ATX電源装置のスイッチをオフにしていることを確認する。

マザーボードをシャーシに取り付ける...

マザーボードの取り付け穴が台の穴に揃っていない場合、またスペーサーに接続するスロットがない場合、心配するには及びません。以下の方法で、取り付け穴にスペーサーを取り付けることができます。スペーサーの下部分を切り取ります(スペーサーはとても堅いので、手を傷つけないように注意してください)。このようにして、ショート心配をすることなしにマザーボードを台に取り付けることができます。マザーボードのPCB面からネジを絶縁するためにプラスチックのスプリングを使用する必要があるときどきありますが、これは回路のワイヤが穴の傍にあるためです。固定穴の傍にあるPCBの回路書き込みやパーツにネジが触れないように注意してください。そうしないと、ボードが破損したり、ボードが誤動作を引き起こす原因となります。

第 1 章 はじめに

機能のまとめ

フォームファクタ	<ul style="list-style-type: none"> 30.6cm x 24.4cm ATXサイズのフォームファクタ、4 層 PCB
CPU	<ul style="list-style-type: none"> Intel® Micro FC-PGA2 Pentium® 4 プロセッサ用の Socket 478 Intel Pentium®4 400MHz FSB CPUによっては、2番目のキャッシュ
チップセット	<ul style="list-style-type: none"> Chipset 82845 HOST/AGP/Controller 82801BA(ICH2) I/O コントローラチップ
メモリ	<ul style="list-style-type: none"> 3 184-ピンのDDR DIMMソケット PC1600 DDRまたはPC2100 DDR DIMMをサポート 最高2GB DRAMまでサポート 2.5V DDR DIMMのみをサポート 64ビットのECC タイプDRAMの完全性モードをサポート
I/O コントロール	<ul style="list-style-type: none"> IT8712
スロット	<ul style="list-style-type: none"> 1 CNR(通信ネットワークライザ) スロット 1 AGP スロット4X (1.5V専用) デバイスのサポート 6 PCIスロットが 33MHz & PCI 2.2 準拠をサポート
オンボードIDE	<ul style="list-style-type: none"> Intel 82801BA PCIチップセット上の2DE コントローラはPIO、バスマスタ(Ultra DMA33/ATA66/ATA100) オペレーティングモードでIDE HDD/CD-ROM (IDE1, IDE2)を提供します。 IDE3とIDE4はRaid、Ultra ATA133/100、EIDEと互換性を持っています(CD-ROMとATAPIのサポートはありません)
オンボード周辺装置	<ul style="list-style-type: none"> 1 つのフロッピーポートが360K、720K、1.2M、1.44M および2.88Mバイトの2 FDDをサポート 1つのパラレルポートが標準EPP/ECPモードをサポート 2つのシリアルポート(COMA & COMB) ケーブルによる4 x USB 2.0、2 x USB 1.1およびオンボードの2 x USB 1.1 IR用の1つのIrDAコネクタ
ハードウェアモニタ	<ul style="list-style-type: none"> CPU/電源/システムファン回転の検出 CPU/電源/システムファンのコントロール CPU過熱警告 システム電圧の検出

続く.....

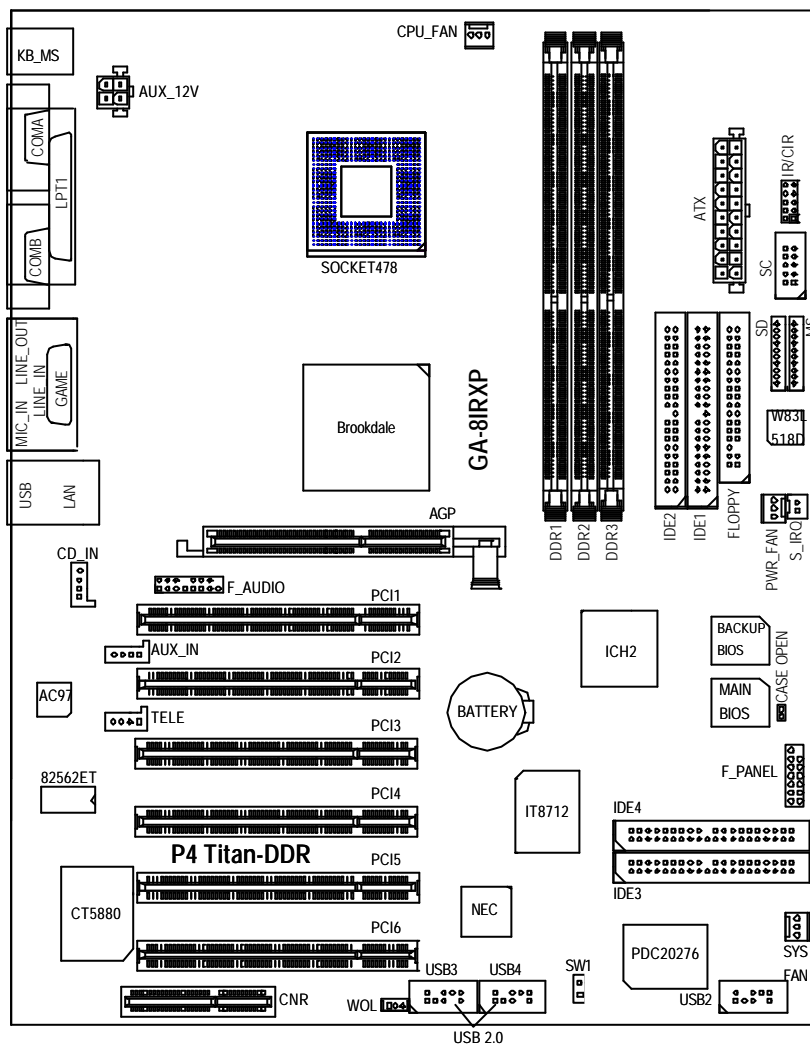
オンボードサウンド	<ul style="list-style-type: none"> • Creative CT5880サウンドチップセット+ Sigmatel 9708T CODEC • ラインイン/ラインアウト/Micイン/CDイン/AUX_IN/TELE/ゲームポート
オンボードRAID	<ul style="list-style-type: none"> • オンボードPromise PDC20276 • データストリッピング(RAID 0)またはミラーリング(RAID 1)のサポート • 平行デュアルIDEコントローラ操作のサポート • IDEバスマスタ操作のサポート • 起動時に状態とエラーチェックメッセージを表示 • ミラーリングが非同期バックグラウンド再構築をサポート • コントローラオンボードBIOSにLBAと拡張割り込み13ドライブ変換を特徴
オンボードLAN	<ul style="list-style-type: none"> • Intel 82562ET LAN PHY
オンボードUSB 2.0	<ul style="list-style-type: none"> • NEC D720100AS1チップセット
オンボードMS,SD,SC	<ul style="list-style-type: none"> • Winbond SMART @I/Oチップセット(メモリスティックセキュリティデジタルおよびSCヘッダ)
PS/2 コネクタ	<ul style="list-style-type: none"> • PS/2キーボードインターフェイスとPS/2マウスインターフェイス
BIOS	<ul style="list-style-type: none"> • 認可を得たAWARD BIOS、4M ビットx 2 FWH • Dual BIOSのサポート • 多言語のサポート • Q-Flashのサポート
追加機能	<ul style="list-style-type: none"> • パスワードによるPS/2キーボードの電源オンオフ • PS/2マウスの電源オン • 外部モデムの呼び起し • STR(RAMへのサスペンド) • ウェークオンLAN (WOL) • AC回復 • キーボード過電流保護のためのポリヒューズ • S3からUSB KB/マウスの呼び起し • @BIOSのサポート • EasyTuneIIIのサポート
特殊機能	<ul style="list-style-type: none"> • 過電圧 (DDR/AGP/CPU) • オーバークロック (CPU/PCI/AGP)



プロセッサの仕様に従ってCPUのホスト周波数を設定してください。CPUの使用を超えてシステムバス周波数を設定することはお勧めしません。これらの特殊なバス周波数はCPU、チップセット、およびほとんどの周辺装置に対する標準仕様ではありません。お使いのシステムがこれらの特殊なバス周波数の元で正しく動作するかどうかはCPU、チップセット、SDRAM、カードなどのハードウェア構成によって異なります。

GA-8IRXP マザーボードのレイアウト

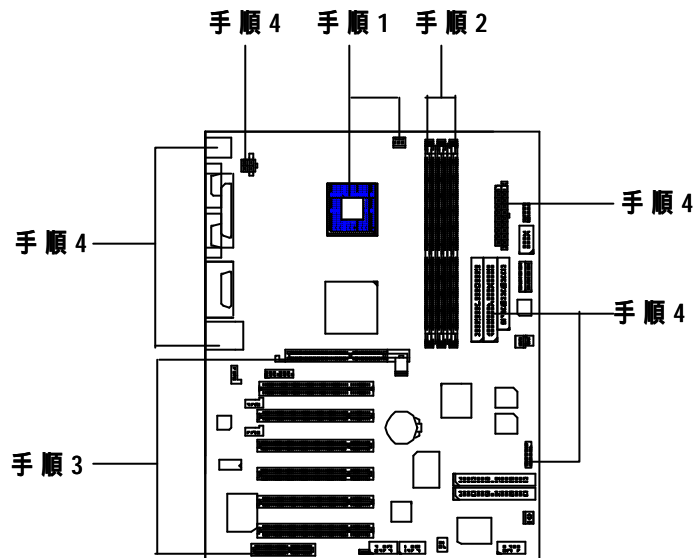
日本語



第2章 ハードウェアの取り付けプロセス

コンピュータをセットアップするには、次の手順を完了する必要があります。

- 手順 1- 中央処理装置(CPU)の取り付け
- 手順 2- メモリモジュールの取り付け
- 手順 3- 拡張カードの取り付け
- 手順 4 - リボンケーブル、キャビネットワイヤ、電源装置の接続
- 手順 5- BIOSソフトウェアのセットアップ
- 手順 6- サポートソフトウェアツールの取り付け

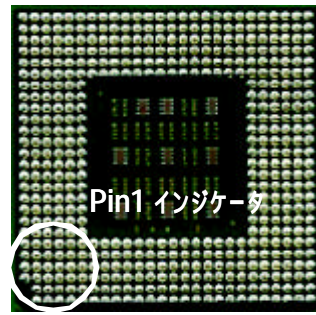


日本語

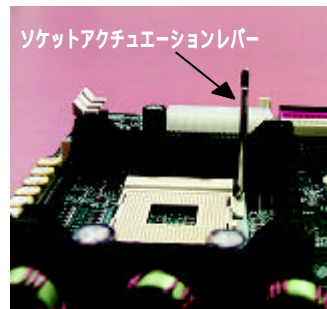
手順 1: 中央処理装置 (CPU) の取り付け 手順 1-1 CPU の取り付け



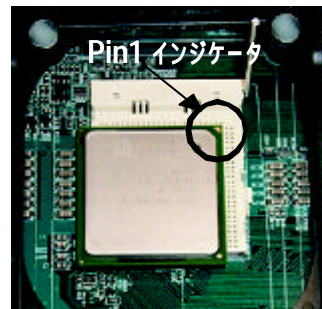
CPU の上面ビュー



CPU の底面ビュー



1. CPU ソケットレバーを引き上げ、90度の角度に設定します。
3. CPU のソケットレバーを下に押し、CPU の取付けを完了します。



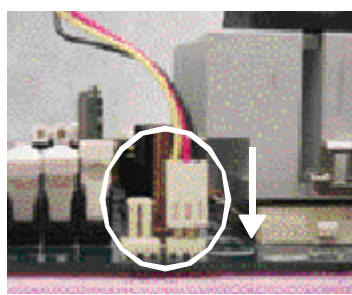
2. ソケットのピン1を探し、CPU の上方隅に (金色) のカットエッジを見つけたら、CPU をソケットに差し込みます。

- * CPU のタイプがマザーボードでサポートされているものであることを確認してください。
- * CPU ソケットのピン1とCPU のカットエッジが一致しないと、取り付けはうまくいきません。挿入方向を変えてください。

手順 1-2 : CPU ヒートシンクの取 り付 け



1. ヒートシンクの支持ベースをメインボードのCPUソケットに固定します。



2. CPUファンがCPUファンコネクタに差し込まれていることを確認し、取付けを完了します。

- ※ インテル公認のクーリングファンを使用してください。
- ※ ヒートシンクの熱伝導をよくするために、感熱テープをご使用になるよう推奨します(クーリングファンは、感熱糊の硬化によってCPUにしっかり固定されることがあります。このとき、クーリングファンを取り外そうとすると、クーリングファンとともにソケットからプロセッサだけが外れ、そのためプロセッサが破損することがあります。これを防ぐために、感熱糊の代わりに感熱テープを使うか、最新の注意を払ってクーリングファンを取り外すようにお勧めします)。
- ※ CPUファンの電源ケーブルがCPUファンのコネクタに差し込まれていることを確認します。これで、取り付けは完了しました。
- ※ 取り付けの詳細については、ヒートシンクのユーザーズマニュアルを参照してください。

手順 2: メモリモジュールの取り付け

マザーボードには3つのデュアルインラインメモリモジュール(DIMM)が搭載されていますが、最大4バンクのDDRメモリをサポートすることができます。DDRスロット1が2つのバンクを使用し、DDRスロット2&3が残りの2バンクを共有します。サポートされる使用可能なメモリ構成については、次の表を参照してください。BIOSはメモリの種類とサイズを自動的に検出します。メモリモジュールを取り付けるには、DIMMスロットに垂直に押し込みます。DIMMモジュールは、ノッチがあるため一方にしかフィットしません。メモリサイズはソケットごとに異なります。

バツアなしDDR DIMMを備えた全メモリサイズ

DIMMで使用されるデバイス	1 DIMM x 64 / x 72	2 DIMMs x 64 / x 72	3 DIMMs x 64 / x 72
64 Mバイト(2Mx8x4/バンク)	128 Mバイト	256 Mバイト	256 Mバイト
64 Mバイト(1Mx16x4/バンク)	32 Mバイト	64 Mバイト	96 Mバイト
128 Mバイト(4Mx8x4/バンク)	256 Mバイト	512 Mバイト	512 Mバイト
128 Mバイト(2Mx16x4/バンク)	64 Mバイト	128 Mバイト	196 Mバイト
256 Mバイト(8Mx8x4/バンク)	512 Mバイト	1 Gバイト	1 Gバイト
256 Mバイト(4Mx16x4/バンク)	128 Mバイト	256 Mバイト	384 Mバイト
512 Mバイト(16Mx8x4/バンク)	1 Gバイト	2 Gバイト	2 Gバイト
512 Mバイト(8Mx16x4/バンク)	256 Mバイト	512 Mバイト	768 Mバイト

注: 両面 x16 DDRメモリアレイスはIntel 845チップセットではサポートされていません。

DDR1	DDR2	DDR3
S	S	S
D	S	S
D	D	X
D	X	D
S	D	X
S	X	D

D:両面DIMM S:片面DIMM

X:使用されていません



DDR



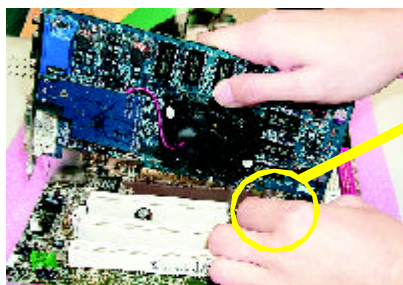
1. DIMMスロットにはノッチがあるため、DIMMメモリモジュールは一方にしかフィットしません。
2. DIMMメモリモジュールをDIMMスロットに垂直に差し込み、下に押し込みます。
3. DIMMスロットの両端にあるプラスチックのクリップを閉じて、DIMMモジュールをロックします。DIMMモジュールを取り外す時は、取り付け手順の反対の操作を行ってください。



- STR / DIMMLED がオンになっているとき、ソケットから DIMM の取り外しを行わないでください。
- 2つのノッチがあるため、DIMMモジュールは一方にしかフィットしないことに注意してください。間違った方向に差し込むと、取りつけをうまく行えません。差し込む方向を変えてください。

手順3: 拡張カードの取り付け

1. コンピュータに拡張カードを取り付ける前に、関連する拡張カードの説明書をよくお読みください。
2. コンピュータからコンピュータのシャーシカバー、ネジ スロットブラケット取り外します。
3. 拡張カードをマザーボードの拡張スロットにしっかり押し込みます。
4. カードの金属接合部がスロットに固定されていることを確認します。
5. ネジをまた取り付けて、拡張カードのスロットブラケットをしっかりと締め付けます。
6. コンピュータのシャーシカバーを元に戻します。
7. コンピュータの電源をオンにし、必要に応じて、BIOSから拡張カードのBIOSユーティリティをセッアップします。
8. オペレーティングシステムから関連するドライバをインストールします。

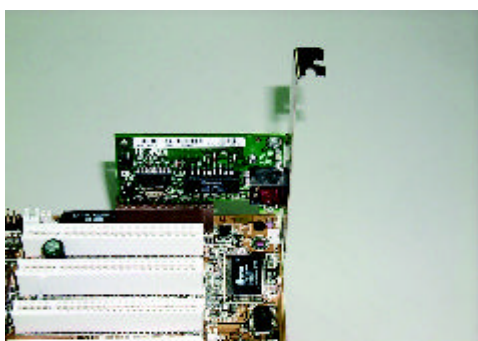


AGPカード

AGPカードの取り付けが取り外しを試みる
とき、AGPスロットの端にある小さな白い
引き抜き可能バーを引き出してください。
オンボードAGPスロットとAGPカードの位置
を合わせ、スロットにしっかりと押し込みま
す。AGPカードが小さな白い引き抜き可
能バーによってロックされていることを確認
します。

①を取り付けるときに注意すべき問題

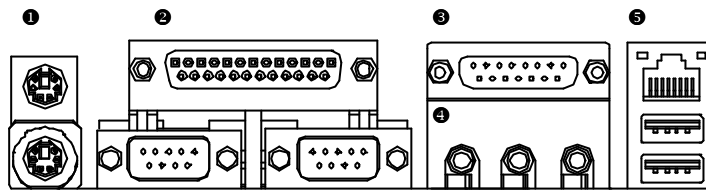
機械上の問題を避けるために、標準のカードをご使用ください。



標準のCNRカード

手順 4: リボンケーブル、キャビネットワイヤ、電源装置の接続

手順 4-1: I/O 背面パネルの概要



① PS/2キーボードとPS / 2 マウスコネクタ

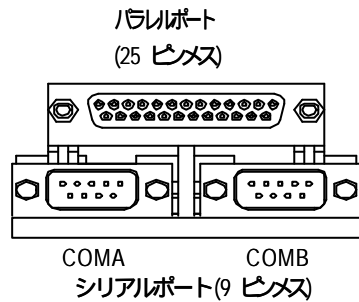


PS/2マウスコネクタ
(6 ピン)

PS/2 キーボードコネクタ(6ピン)

➤ このコネクタは 標準のPS/2キーボードとPS/2マウスをサポートしています。

② パラレルポートとシリアルポート(COMA/COMB)

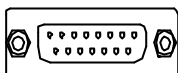


パラレルポート
(25 ピン)

COMA COMB
シリアルポート(9 ピン)

➤ このコネクタは2つの標準COMポートと1つのパラレルポートをサポートしています。プリンタのようなデバイスは、パラレルポートに接続できます。マウスやモデムなどは、シリアルポートに接続できます。

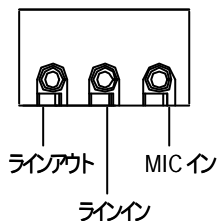
⑤ ゲーム / MIDIポート



ジョイスティック/ MIDI (15 ピンメス)

➤ このコネクタはジョイスティック、MIDIキーボード、およびその他の関連オーディオデバイスをサポートしています。

⑥ オーディオコネクタ

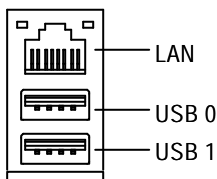


➤ オンボードオーディオドライバをインストールした後、スピーカーをラインアウトジャックやマイクをMICインジャックに接続できます。CD-ROM、ウォークマンなどのデバイスは、ラインインジャックに接続できます。
 注意: ラインアウト1: ラインアウトまたはSPDIF (SPDIF出力はデジタルオーディオを外部スピーカーに、または圧縮されたAC3データを外部Dolbyデジタルデコーダに提供することができます)。SPDIFを有効にするには、SPDIFをラインアウト1に差し込みます。ラインアウト1はSPDIFアウトに自動的になります。
 4スピーカーを有効にするとCreative 5880オーディオ専用、ラインインはラインアウト2になってステレオスピーカーの2番目のペアをサポートします。



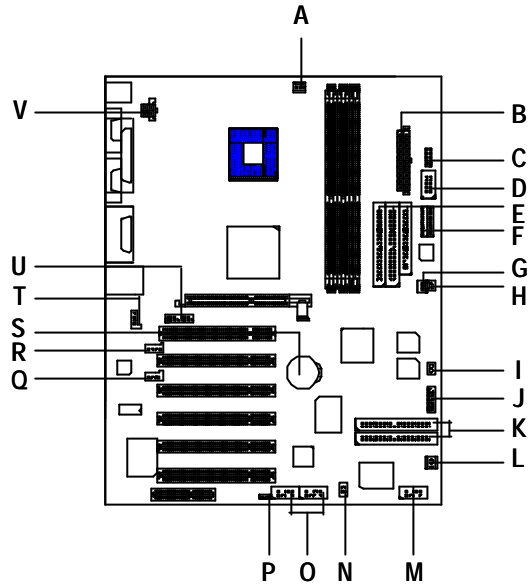
“Four Speaker & SPDIF”セットアップに関する詳細は、Gigabyte のweb サイト、<http://www.gigabyte.com.tw> から58IRXP マニュアル 完全 版をダウンロードしてお調べください。

⑦ USB/ LANコネクタ



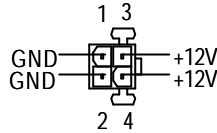
➤ デバイスをUSBコネクタに接続する前に、USBキーボード、マウス、スキャナ、zip、スピーカーなどのデバイスが標準のUSBインターフェイスを認識しているか確認してください。また、お使いのOS (USB補助を装備したWin98、Windows 2000、Windows ME、SP 6を装備したWinNT) がUSBコントローラをサポートしていることも確認してください。OSがUSBコントローラをサポートしていない場合、OSベンダーに連絡してパッチやドライバをアップグレードしてください。詳細については、OSまたはデバイスベンダーにお問合せください。

手順 4-2 :コネクタとジャンパ設定の概要



A) CPU_FAN	L) SYS_FAN
B) ATX	M) USB2
C) IR/CIR	N) SW1
D) SC	O) USB3/USB4
E) IDE1/IDE2/フロッピー	P) WOL
F) SD/MS	Q) TELE
G) PWR_FAN	R) AUX_IN
H) S_IRQ	S) BAT
I) CASE_OPEN	T) CD_IN
J) F_Panel	U) F_AUDIO
K) IDE3/IDE4	V) AUX_12V

V) AUX_12V(+12V 電源コネクタ)



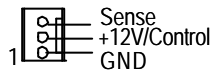
➤ このコネクタ(ATX +12V) はCPU コア電圧の場合のみ使用できます。

A) CPU_FAN (CPU ファンコネクタ)



➤ CPUクーラーの適切な取り付けは、CPUが異常な状態で動作したり、過熱による破損などから守るために欠くことができません。CPU ファンコネクタは、最高600mAまでの電流をサポートします。

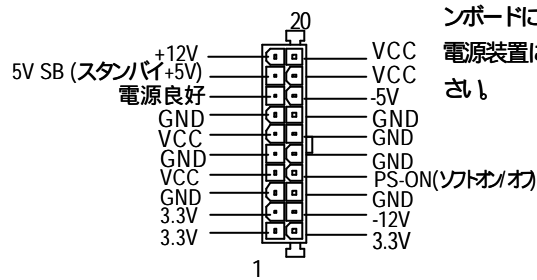
G) PWR_FAN (電源ファンコネクタ)



L) SYS_FAN (システムファンコネクタ)

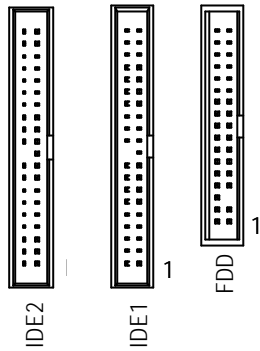


B) ATX (ATX 電源コネクタ)



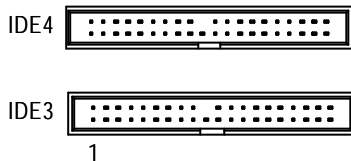
➤ AC電源コードは、必ずATX電源ケーブルとその他の関連デバイスをメインボードにしっかりと接続した後で、電源装置に接続するようにしてください。

E) フロッピー/IDE1/IDE2コネクタ(プライマリ/セカンダリ)

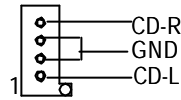


➤ 重要な通告:
まずハードディスクをIDE1に接続し
てから、CDROMをIDE2に接続して
ください。

K) IDE3/IDE4 コネクタ (RAID/ATA133)

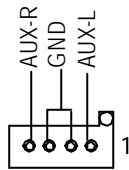


T) CD_IN (CD オーディオインコネクタ)

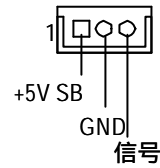


“RAID“ セットアップに関する詳細
は、Gigabyteのwebサイト、<http://www.gigabyte.com.tw>か581RXPマニ
ュアル完全版をダウンロードしてお調べ
ください。

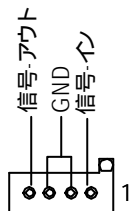
R) AUX_IN (AUX インコネクタ)



P) WOL(ウェークオンLAN)

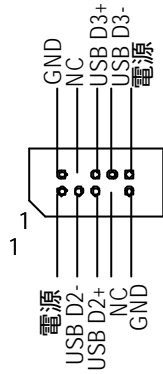


Q) TELE



➤ コネクタは音声コネクタを搭載し
た内蔵モデムカード用です。

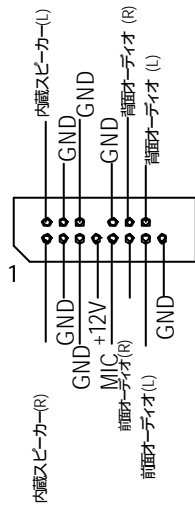
M, O) USB2/USB3/USB4 (オレンジ色のUSB3 & 4コネクタはUSB 2.0用です)



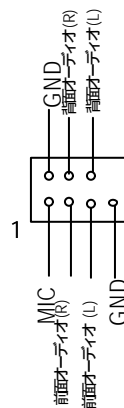
- ▶ フロントパネルUSBコネクタの極性に注意してください。フロントパネルUSBケーブルに接続している間、ピン割り当てをチェックしてください。オプションのフロントパネルUSBケーブルについては、最寄りの販売店にお問合せください。

Q) F_AUDIO (F_AUDIO Connector)
前面オーディオコネクタには2つのタイプがあります。取り付ける前に下の表を参照してください。

- ▶ タイプ1-前面オーディオコネクタをご使用になる場合、11-12, 13-14 ジャンパを移動する必要があります。タイプ2-前面オーディオコネクタをご使用になる場合、3-4, 5-6 ジャンパを移動する必要があります。前面オーディオヘッドを利用するには、シャーシに前面オーディオコネクタを装備している必要があります。また、ケーブルのピン割り当てがMBヘッドのピン割り当てと同じになっていることを確認します。お求めのシャーシが前面オーディオコネクタをサポートしているかどうかを知るには、販売店にお問合せください。

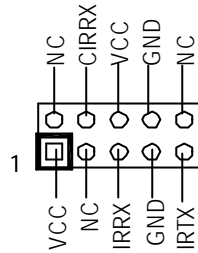


タイプ1



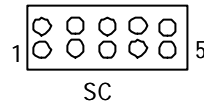
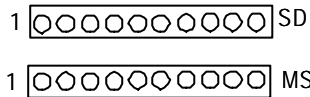
タイプ2

C) IR/CIR (IR/CIR)

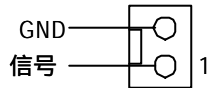


➤ IRデバイスのピンがコネクタのピンと一直線に並んでいることを確認してください。ボードのIR/CIR機能を有効にするには、オプションIR/CIRモジュールをお求めになる必要があります。詳細については、公認のGiga-Byte代理店にお問合せください。IR機能のみを使用するには、IRモジュールをピン1からピン6に接続してください。

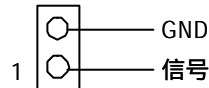
D,F) SC (スマートカードインターフェイス)、SD(セキュアデジタルメモ리카ードインターフェイス)、MS (メモリスティックインターフェイス)



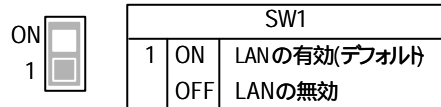
H) S_IRQ



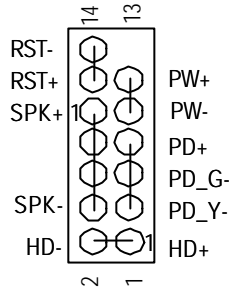
I) CASE_OPEN



N) SW1



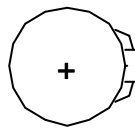
J) F_PANEL (2x7ピンコネクタ)



HD (IDEハードディスクのアクティブLED)	ピン1: LED陽極(+) ピン2: LED陰極(-)
SPK (スピーカーコネクタ)	ピン1: VCC(+) ピン2- ピン3: NC ピン4: データ(-)
RST (リセットスイッチ)	開く 標準操作 閉じる: ハードウェアシステムのリセット
PD+/PD_G-/PD_Y-(電源LED)	ピン1: LED陽極(+) ピン2: LED陰極(-) ピン3: LED陰極(-)
PW (ソフトによる電源コネクタ)	開く 標準操作 閉じる: 電源 / オフ

➤ シャーシフロントパネルの電源LED、PCスピーカー、リセットスイッチ、電源スイッチなどを、上のピン割り当てに従ってF_PANELコネクタに接続してください。

S) BAT (バッテリー)



注意

- ❖ 交換するとき、バッテリーの向きを間違っていると、爆発する恐れがあります。
- ❖ メーカーが推奨するバッテリー、または同等のタイプのバッテリーと交換してください。
- ❖ 使用済みバッテリーの処分は、メーカーの指示に従ってください。

第3章 BIOSのセットアップ

BIOSのセットアップはBIOSセットアッププログラムの概要です。このプログラムにより、ユーザーは基本構成を変更することができます。このタイプの上方はバッテリーでバックアップされたCMOS RAMに格納されているので、電源がオフになっているときでもセットアップ情報は保持されます。

セットアップに入る

コンピュータの電源をオンにした後、POST (電源オン自己試験)の間に直ちにを押すと、Award BIOS CMOS SETUPに入ることができます。

ヘルプの表示

メインメニュー

強調表示されたセットアップ機能のオンラインの説明は、画面の下部に表示されています。

ステータスページのセットアップメニュー / オプションページのセットアップメニュー

F1を押すと小さなヘルプウィンドウがポップアップ表示され、適切なキーの使用法と強調表示された項目の考えられる選択について説明します。ヘルプウィンドウを終了するには、<Esc>を押します。

メインメニュー

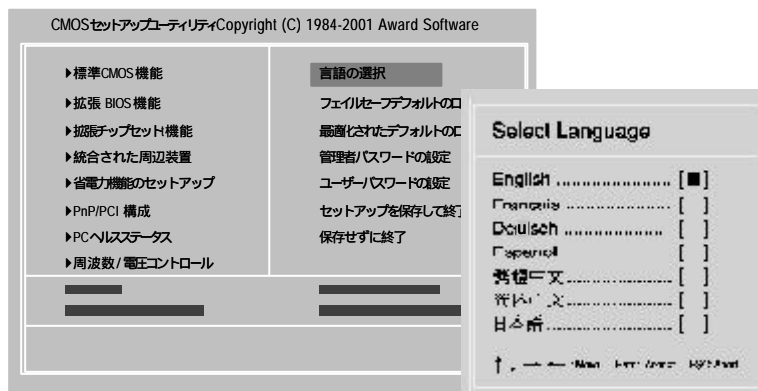
Award BIOS CMOSセットアップユーティリティをオンにすると、メインメニューが画面に表示されます。メインメニューでは8つのセットアップ機能と1つの終了選択を選択することができます。矢印キーを使用して項目を選択し、<Enter>を押して選択を受け入れるか、サブメニューに入ります。

デュアルBIOS / Q-フラッシュユーティリティ

コンピュータの電源をオンにした後、POST (電源オン自己試験)の間に直ちにを押すとDualBIOS/Q-Flashユーティリティに入ります。DualBIOS/Q-Flashユーティリティの詳細については、Gigabyteのwebサイト、<http://www.gigabyte.com.tw>からこのマニュアルをダウンロードしてお調べください。

言語の選択

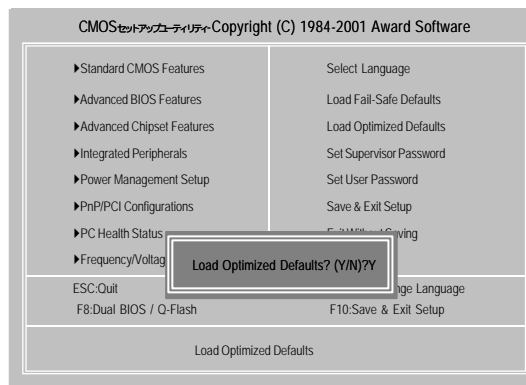
<Shift>+<F3>を押すと多言語を選択できます。英語、日本語、フランス語、スペイン語、ドイツ語、簡体字中国語、繁体字中国語など7ヶ国語をご利用になれます。



- **標準のCMOS機能**
このセットアップページには、標準の互換BIOSに関するすべての項目が含まれています。
- **拡張 BIOS機能**
このセットアップページには Awardの特殊機能に関するすべての項目が含まれています。
- **拡張チップセット機能**
このセットアップページには、チップセットに関する特殊機能のすべての項目が含まれています。
本当に必要なとき意外は、チップセットのデフォルトの設定を変更しないようにお勧めします。
- **統合された周辺装置**
このセットアップページには、すべてのオンボード周辺装置が含まれています。
本当に必要なとき意外は、チップセットのデフォルトの設定を変更しないようにお勧めします。上級のエンドユーザー専用。
- **省電力機能のセットアップ**
このセットアップページには、グリーン機能のすべての項目が含まれています。
本当に必要なとき意外は、チップセットのデフォルトの設定を変更しないようにお勧めします。上級のエンドユーザー専用。
- **PnP/PCI構成**
このセットアップページには PCI & PnP ISA リソースに関するすべての構成が含まれています。
本当に必要なとき意外は、チップセットのデフォルトの設定を変更しないようにお勧めします。上級のエンドユーザー専用。
- **PCヘルスステータス**
このセットアップページでは、システムが温度、電圧、ファン、速度を自動的に検出します。
- **周波数電圧コントロール**
このセットアップページでは CPUのクロック速度と周波数速度をコントロールします。
上級のエンドユーザー専用。
- **言語の選択**
このセットアップページでは、多言語を選択します。

- **フェイルセーフデフォルトのロード**
フェイルセーフデフォルトでは、システムが安全な構成になれる、システムパラメータの値を示します。
- **最適化されたデフォルトのロード**
最適化されたデフォルトは、システムが最高のパフォーマンス構成になれるシステムパラメータの値を示します。
- **管理者パスワードの設定**
パスワードを変更、設定、または無効にします。このオプションにより、システムやセットアップへのアクセスを制限したり、セットアップにだけアクセスできるように設定できます。
- **ユーザーパスワードの設定**
パスワードを変更、設定、または無効にします。このオプションにより、システムへのアクセスを制限できます。
- **セットアップを保存して終了**
SMOS値の設定をCMOSに保存して、セットアップを終了します。
- **保存せずに終了**
すべてのCMOS値の変更を破棄し、セットアップを終了します。

最適化されたデフォルトのロード

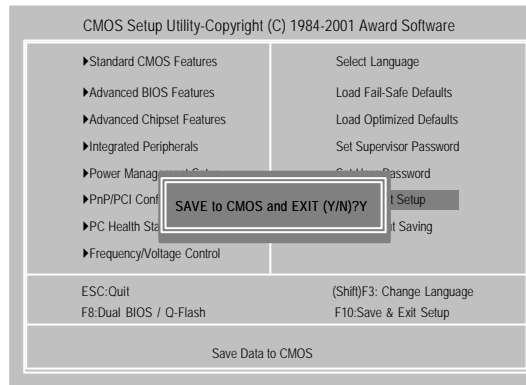


☞ 最適化されたデフォルトのロード

このフィールドを選択すると、BIOSおよびチップセット機能に関する工場出荷時のフェイルセーフデフォルトをロードして、それをシステムが自動的に検出します。

最適化されたデフォルトをロードするには、キーボードの矢印キーを押すことにより、カーソルを移動して、最適化されたデフォルトを強調表示し、Enterキーを押してから、このオプションをロードする場合は「Y」を押します。

セットアップを保存して終了



- ☞ BIOS設定画面を保存して終了するには、F10を押してから、設定を保存する場合は"Y"を押します。"N"または"ESC"を入力すると、セットアップ画面に戻ります。



BIOSセットアップに関する詳細は、Gigabyteのwebサイト、<http://www.gigabyte.com.tw> から8IRXP(完全版)マニュアルをダウンロードしてご覧ください。

日本語

第4章 ドライバのインストール

下の写真はWindows ME (特別なCD) の場合に表示されます。

マザーボードに付属するドライバのCDタイトルをCD-ROMドライブに挿入すると、ドライバCDタイトルが自動的に起動してインストールガイドを表示します。表示されない場合、[マイコンピュータ]のCD-ROMデバイスアイコンをクリックし、setup.exeを実行します。

日本語

A. Intel 845チップセットドライバのインストール

まず最初にこのドライバをインストールしてください。このアイテムはチップセットドライバユーティリティをインストールし、Intelチップセットコンポーネントに対するPlug-n-Play INFサポートを有効にします。

B. オーディオドライバのインストール

このアイテムをクリックしてオーディオドライバをインストールします。

C. ネットワークドライバのインストール

このアイテムをクリックしてネットワークドライバをインストールします。

D. Promise PCIデバイスドライバのインストール

このアイテムをクリックしてPromise PCIデバイスドライバをインストールします。

E. SD, MS, SCドライバのインストール

このアイテムをクリックしてSD, MS, SC関連のデバイスドライバをインストールします。

F. USB 2.0ホストコントローラドライバのインストール

このアイテムをクリックしてUSB3, USB4 (オレンジ色のコネクタはUSB 2.0用です) ドライバをインストールします。



A: Intel 845チップセットドライバのインストール

画面に表示されるセットアップに従って、ユーティリティをインストールします。



A-1. Windows 9x/ME/2000/XP INF アップデートユーティリティ
"Windows 9x/ME/2000/XP INF Update Utility" アイテムをクリックします。

A-2. Intel Ultra ATA ストレージドライバ
"Intel Ultra ATA Storage Driver" アイテムをクリックします。

B: オーディオドライバのインストール



"オーディオ" アイコンを押します。

"Creative CT5880サウンドドライバ" アイテムをクリックします。

C: ネットワークドライバのインストール



ネットワーク アイコンを押します。

"ドライバ情報" をクリックします。

D: RAIDドライバのインストール



"ATA100" と "RAID" セットアップに関する詳細は Gigabyte のweb サイト <http://www.gigabyte.com.tw> から8IRXPマニュアル(完全版)をダウンロードしてお調べください。